

## マッチング説明会 & 基幹型臨床研修病院説明会

6月10日(金)17:30から本学医学部の臨床講義室105教室において本学医学生を対象にマッチング説明会及び県内6基幹型病院の説明会が開催されました。卒後臨床研修センターの小松副センター長の挨拶及びマッチング説明の後、今年度新たに実施される県立病院群の「フェニックスプログラム」や各病院の研修プログラムなど、県内基幹型病院の紹介がありました。80名余りの学生が訪れ、説明会終了後に行われた個別進路相談にも熱心に話を聞く学生の姿がありました。



## レジナビフェア in 大阪&東京

民間医局が主催する研修説明会(レジナビフェア)が、7月3日に大阪会場、17日に東京会場それぞれ開催されました。今回は、県内の6基幹型病院が合同で「宮崎県の臨床研修病院」として参加しました。宮崎大学としても大阪、東京でのブース出展は初めてで、不安もありましたが、大阪では26名、東京では47名と多くの方が宮崎ブースを訪問して下さいました。この中から一人でも多くの方が病院見学、そしてマッチング応募へと繋がるように、卒後センターとしても、今後様々な工夫をしていきたいと思っております。



## 研修医の声



 Voice

1年次研修医

岩切 由佳

(写真左下)

4月から新生活がスタートし、あっという間に夏を迎えようとしています。学生の皆さんは、どこか病院にしようか頭を悩ませているのではないのでしょうか。私は最後まで県外の市中病院か宮崎大学かを迷いましたが、3年目の入局を見据えて宮崎での研修を選びました。しかも、市中病院も大学も選択できるので、common diseaseから難病まで経験でき、バランスが良いということも決め手でした。宮崎は、気候も食べ物も、人柄も最高です。この素敵な場所で、一緒に研修してみませんか？



 Voice

2年次研修医

村嶋 隆哉

(写真左下)

2年目研修医の村嶋です。福岡県出身で宮崎大学を卒業し、初期研修も宮崎大学を選択しました。内科・外科・精神科・救急・小児科をローテートしましたが、どの科の先生方もあたたかく指導してくださり、多くの愉快的仲間たちにも恵まれ、楽しく研修させていただいています。宮崎大学での研修は、大学病院ほか多くの関連病院を選択でき、自分の希望に合った研修ができます。宮崎でもともに働いてくれる仲間を心よりお待ちしております。





# 協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科 紹介

## 協力型 都城市郡医師会病院(都城市)



医師という職業を生業とする私たちにとって、研修期間は診療スタイルの基本を形成する大切な時期です。短い研修期間ですが、志さえあれば、医師として大きな成長をすることができそうです。

ロケーションは北西に霧島連山、西南に桜島を眺望できる自然に恵まれた逃げ場のない環境で、研修医専用の宿舎も隣接されていますので、強化合宿並の研修をぜひ堪能しに来て下さい。

## 協力型 済生会日向病院(門川町)



当院は、恩賜財団済生会が宮崎県に開設した病院で、県北の数少ない公的医療機関として地域の医療と福祉に貢献しています。ベッド数204床の病院ですが、この規模の病院としては、外科系(外科、整形外科、脳神経外科)の手術数と救急患者の多いことが特徴で、研修医の皆さんが救急の初期診療と基本手技を体得するのに適した病院であると思います。これまで当院で研修した皆さんは、指導医とペアで診療に当たり、必要に応じた専門職の教育や指導もあって、総合医に必要な、ほぼ全領域をカバーする初期診療の技術や手技を学ぶことができたことと評価しています。海浜に隣接した当院は自然環境に恵まれ、研修医住宅も完備しています。

## 協力型 園田病院(小林市)



当院では、多様化するニーズに応ずるべく宮崎大学の協力のもと専門外来を実施致しております一方で、開院当初より1次から2次の急性期医療を主軸とした医療施設として地域に根ざした医療機関として日々の業務を行っております。

その一方で一般診療、救急診療の他にこの地域でも加速する高齢化社会にむけて、訪問診療、健診業務等にも力をいれており、地域住民の皆様健康管理から救急診療といった、総合した医療の提供に努めております。

こうした、総合した医療を提供する中で各種の症例や各現場に応じた見聞を広げて頂き、一連の研修を通じて幅広く地域医療で活躍できる人材の育成を目指した研修指導を実施して参ります。

## 協力施設 宮田眼科病院(都城市)



当院は、ベッド数71床、1日の外来患者が約400人と、全国屈指の規模を持つ眼科専門病院です。都城に本院が、鹿児島に分院があり、10人の眼科専門医が常勤しています。また角膜、緑内障、網膜硝子体、ぶどう膜炎などの専門外来を開設、その分野のトップクラスの教授、准教授を全国の大学から招聘し、最先端の医療の提供に努めています。

興味とやる気のある若手の先生の見学をお待ちしています。

## 本院 第三内科



第三内科(神経呼吸内分泌代謝内科)は、糖尿病、気管支喘息など日常臨床でよく遭遇する疾患と、神経難病や先端巨大症などの特殊な疾患をカバーする診療科であることが特徴です。また、救急での入院症例が入院患者全体の34%を占め、脳炎、けいれん重積、糖尿病性昏睡、重症呼吸不全などの救急患者を24時間態勢で受け入れています。当科での研修で、救急医療と専門医療の連携を同一現場で体験することができますので、是非当科での診療を体験してみてください。

## 本院 耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉・頭頸部外科は、眩暈や難聴から腫瘍と大変多岐にわたる分野を担当しています。頭頸部腫瘍は県下の基幹病院として、また、耳は週間朝日MOOKの耳手術ランキングで全国5位となり、全国クラスの症例数があります。当科での研修は、研修医の希望(例えば小児科希望なので鼓膜が診れるようになりたいなど)に沿った研修ができるような体制を取っています。将来的に耳鼻科以外を専攻されても何かの役には立てると考えていますので、ぜひ耳鼻科での研修を考えてみてください。

# 新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会が、7月12日(火)19時から宮崎観光ホテルにおいて宮崎県医師会主催で開催されました。保険診療について説明後、祝賀会が始まり、県医師会長並びに宮崎県知事等から新研修医へのお祝いと励ましのことばを賜り、新研修医を代表して本院の増元大祐先生が決意を述べました。乾杯の後に歓談となり、新研修医36名(本院28名、県立宮崎病院6名、宮崎生協病院2名)が一人ずつ挨拶し、和やかな雰囲気の中、盛会のうちに終了しました。



# 教育カリキュラム

平成23年度卒後臨床研修教育カリキュラムがスタートしました。今年度は、「実技編」、「講義編」、「各科担当編」、「薬品情報説明会」に分けて実施しています。

## 《対象》

本院及び、宮崎県内の基幹型臨床研修病院で研修中の1、2年次研修医(医学部学生または、附属病院医師も参加自由)

## 《日時・場所》

シリーズ	日時	場所
1. 実技編	毎月第1木曜日 18:00~19:00	臨床技術トレーニングセンター
2. 講義編	毎月第2木曜日 18:00~19:00	卒後臨床研修センター
3. 各科担当編	毎月第3木曜日 18:00~18:40	卒後臨床研修センター
4. 薬品情報説明会	毎月第4木曜日 18:00~18:30	卒後臨床研修センター



### 実技編15回

(オリエンテーション含)

人工呼吸器の使い方  
イチロー/Mr.ラングでの心音・呼吸音聴診  
UltraSimでの腹部エコー診断  
CVCシミュレーターでの中心静脈確保  
GI Mentor IIでの上部消化管内視鏡  
SimBabyでの小児救急蘇生  
SimMan 3Gでの成人救急蘇生  
緊急気道確保(気管切開/輪状甲状軟骨穿刺)

### 講義テーマ19回

(オリエンテーション含)

NSAIDs・睡眠薬・緩下薬の使い方  
自分で輸液メニューを組むためのエッセンス  
心電図に強くなる!  
胸部単純X線読影の基本  
これであなたも血液ガスが読める!  
臨床解剖学のススメ  
抗菌薬をセンス良く使いこなそう!  
インスリンの上手な使い方  
急場を凌ぐワザ ~循環作動薬の使い方  
診断推論 ~名医の診断に近づくために  
医学文献の読み方 ~数字に騙されないために

### 各科担当編 10回

小児科  
外科  
産婦人科  
皮膚科  
脳神経外科  
眼科  
麻酔科  
整形外科  
耳鼻咽喉科  
泌尿器科

### 薬品情報説明会 13回

NSAIDs/抗菌薬/降圧薬  
血液凝固阻止剤(リコモジュリン)  
外来で導入できるインスリン療法と手技  
末梢輸液/中心静脈栄養/経腸栄養  
糖尿病治療薬  
生活習慣病/感染症  
漢方医学入門  
血漿分画製剤の安全対策とγグロブリンの有効性  
在宅酸素療法について  
末梢動脈障害(PAD)/統合失調症  
G-CSF製剤について  
重症感染症/生活習慣病

# 中九州三大学病院合同専門医養成プログラム

本プログラムも開始から4年目を迎えております。来年度も、本年度と同様に熊本大学・大分大学・宮崎大学の三大学連携の10の専門医養成プログラムと宮崎大学単独の18プログラムの準備を行っております。本年度以降は、三大学連携診療科における合同カンファレンスやセミナー等だけでなく、短期的な人事交流などの計画を進めています。

三大学での魅力ある点を強調しながら、本院での医師確保、専門医養成に活かされるよう期待しております。

## 三大学連携プログラム

脳神経外科 総合診療 放射線科IVR  
呼吸器内科 救急科 消化器外科  
循環器内科 整形外科  
小児科 産科・婦人科

## 宮崎大学単独プログラム

消化器内科 神経内科 呼吸器外科 皮膚科 放射線科  
腎臓内科 内分泌・代謝内科 心臓血管外科 耳鼻咽喉科 病理  
血液内科 外科 精神科 泌尿器科  
膠原病・感染症科 消化器外科 眼科 麻酔科



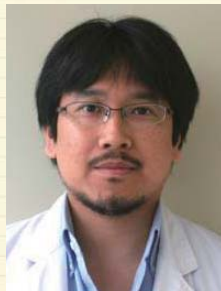
## 行事案内

8月	13日(土)	初期医師臨床研修/修了後専門研修説明会in みやざき(宮崎観光ホテル)
	15日(月)	第1回医師臨床研修マッチング面接
	18日(木)	第1回歯科医師臨床研修マッチング面接
	5日(金)~29日(月)	2年次面談
9月	2日(金)	第8回医師臨床研修協議会(草津市)
	5日(月)	第2回医師臨床研修マッチング面接
	8日(木)	第2回歯科医師臨床研修マッチング面接
	15日(木)	第3回歯科医師臨床研修マッチング面接
	22日(木)	第4回歯科医師臨床研修マッチング面接
10月	1日(土)	宮崎大学診療科説明会
	18日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
	27日(木)	医師臨床研修マッチング決定
12月	上旬	ローテート説明会
	上旬	1年次面談
	17日(土)・18日(日)	指導医養成のためのワークショップ(宮崎市)

宮崎大学診療科説明会  
日時:10月1日(土)  
19:00~  
場所:なぶら 中央店



## 先生紹介



卒後臨床研修センター教員  
梅北邦彦先生

平成14年に宮崎医科大学を卒業しました。同附属病院で研修後、膠原病感染症内科で診療をしております。  
学生時代はバレーボール部に所属していました。  
この度、卒後臨床研修センターに配属となり、これまで学んだことを研修医の皆様へ還元できたらと考えております。  
どうぞよろしくお願いいたします。



卒後臨床研修センター教員  
三好良英先生

皆さんこんにちは。卒後臨床研修センターの三好良英です。普段は精神科の診療をしています。私は現在の臨床研修制度が始まった翌年に宮崎大学で研修を開始しました。宮崎大学の研修プログラムのメリットは、大学病院はもちろん、県内各地の病院で研修することができることだと思います。皆さんが2年間いろいろな科や病院で研修を積み、多くの症例や手技を経験できるだけでなく、自身の目標となるような良き先輩医師とめぐりあうことができればと思っています。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200  
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101  
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp